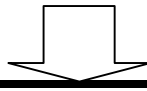


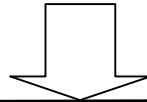
# <尿道留置カテーテル抜去に関するアセスメントシート>

平成 24 年度 私立医科大学病院感染対策協議会 看護師専門職部作成

<b>患者氏名</b>		<b>ID</b>	
<b>カテーテル挿入日</b>		<b>備考</b>	
<b>①尿道留置カテーテルの留置理由</b>			
<input type="checkbox"/> 厳密な水分出納バランスの収支が必要である			
<input type="checkbox"/> 重度の尿路通過障害がある			
<input type="checkbox"/> 尿閉による水腎症や腎機能低下がある			
<input type="checkbox"/> 泌尿器科系術後の創部の安静保持や体位の固定などの必要性がある			
<input type="checkbox"/> 仙骨または会陰部の開放創があり、かつ尿失禁がある			
<input type="checkbox"/> 終末期ケアの快適さのためにカテーテル留置が必要である			



①「尿道留置カテーテルの留置理由」に該当がない場合に、②「尿道留置カテーテル抜去」の評価を実施して下さい。



<b>②尿道留置カテーテル抜去の評価項目</b>		/	/	/
1	厳密な水分出納バランスの収支が必要でなくなった			
2	重度の尿路通過障害が改善されたと医師が判断している			
3	尿閉による水腎症や腎機能低下がないと医師が判断している			
4	泌尿器科系術後の創部の安静保持や体位の固定の必要性がなくなった			
5	仙骨または会陰部の開放創が改善した			
6	カテーテル留置期間が長期になった (閉鎖式では 30 日以上、開放式では 4 日以上を目安とする)			
7	接続部の閉鎖(タンパーエビデントシール)が破綻している (開放式では接続部を外すことがあった)			
8	排液バッグ内や排液口に着色汚染がある			
9	排液バッグ内やチューブ管内に著しい浮遊物がある			
10	細菌尿 (目安 $10^5$ /ml 以上) がみられる			
11	尿混濁がある			
12	尿路感染を疑う症状がある (38.0℃以上の発熱、WBC, CRP の上昇等)			
チェック者サイン				

②に1つでも該当した場合は、医師を含めた医療チームで抜去について積極的に検討して下さい。

## 尿道留置カテーテルの留置継続理由

(上記項目にチェックがあるものの、尿道留置カテーテルを抜去できない場合は理由を以下に記載)

/		サイン
/		サイン

※カテーテル抜去後は自尿を確認し、自尿が無い場合は、間欠的導尿をご検討ください。

